

歴史と実績認められGI登録

■筆者プロフィル■
わたなべ・ひろなお
1954年、新温泉町浜坂出身。県職員として畜産行政に長年携わってきた。県立但馬牧場公園「但馬牛博物館」館長。

昨年12月に「但馬牛」と「神戸ビーフ」が「地理的表示保護制度(GI)」に登録された。この制度は、名前だけで産地や品質が分かるような農林水産品を知的財産として国が守る新しい仕組みだ。

初めて七つの品目が登録され、その中に但馬牛と神戸ビーフが入った。

但馬牛も神戸ビーフも兵庫県で生まれ、育ったものを意味する。淡路で生まれても但馬牛、但馬で育つても神戸ビ

牛を導入して自県の牛を良くしようとする。結果的に他県はどここの牛も同じような牛になってしまった。ところが兵庫県は他県の牛を交えない「但馬種」の時代と同じ方針を今まで続けてきた。そのため、但馬牛は独特の特徴を持ち、県内どこでも生糞の但馬牛が生まれるようになった。

1918年、但馬で但馬牛血統登録組合ができ、血統の管理や優れた体形、能力を持

れ、その中に但馬牛と神戸ビーフが入った。

毛和種」という品種になった。こうなると、よその優秀な牛を導入して自県の牛を良く

しようとする。結果的に他県はどここの牛も同じような牛になってしまった。ところが兵庫

県で生まれ、育ったものを意味する。淡路で生まれても但馬牛、但馬で育つても神戸ビ

牛を導入して自県の牛を良くしようとする。結果的に他県はどここの牛も同じような牛になってしまった。ところが兵庫

県で生まれ、育ったものを意味する。淡路で生まれても但馬牛、但馬で育つても神戸ビ

牛を導入して自県の牛を良くしようとする。結果的に他県はどここの牛も同じような牛になってしまった。ところが兵庫



地域の宝

但馬牛物語

★7★

GIに登録された但馬牛。ブランド力向上が期待される



義し、それに合致する牛肉を認証する神戸肉流通推進協議会ができた。兵庫県で生まれた但馬牛を県内で育て、牛肉にしたものを但馬牛や神戸ビーフと定めた。

このような歴史と実績が認められ、但馬牛と神戸ビーフはGIに登録された。世界には既にGIを行っている国が100カ国以上あり、今回の登録は世界に但馬牛、神戸ビーフを認識させる大きな一步となりそうだ。

但馬では若い後継者が育ちつつある。但馬牛飼育を夢見ながら廃業する農家は多く、農業高校や農業大学校の門をたたく若者も増えてきた。しかし廃業する農家は多く、生産頭数は伸び悩んでいる。但馬牛は但馬が生んだ品種ともいってべき牛だ。但馬の宝として、但馬牛を飼う若者が増えてほしいと願う。

生かし、肉牛を育てるノウハウを持つ三田や神戸などが降りと無駄な脂が少ないので、おいしい牛肉を作る技術が広がった。

こうした積み重ねの上に83年、神戸ビーフや但馬牛を定